

⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭64-51567

⑫ Int. Cl. 1
B 62 D 1/18識別記号 庁内整理番号
8009-3D

⑬ 公開 昭和64年(1989)3月30日

審査請求 未請求 (全4頁)

⑭ 考案の名称 車両用チルトハンドル装置

⑮ 実 願 昭62-145908
⑯ 出 願 昭62(1987)9月26日

⑰ 考案者 藤 生 敦 群馬県新田郡笠懸村阿佐美457-2番地

⑱ 考案者 鹿 貫 誠 治 群馬県桐生市広沢町3丁目4291番地23号

⑲ 出願人 株式会社山田製作所 群馬県桐生市広沢町1丁目2757番地

⑳ 代理人 弁理士 岩堀 邦男

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ステアリングシャフトを支持するアッパー回動ブラケットとロアーフィニット固定ブラケットとを支点軸を中心として回動可能に設け、第1歯部を前記アッパー回動ブラケット又はロアーフィニット固定ブラケットに固着し、第1歯部を固着した反対側のロアーフィニット固定ブラケット又はアッパー回動ブラケットに基部を軸着したリンクの先端側の第2歯部と前記第1歯部とが互いに内接して噛み合うようにし、そのリンクの先端側にカム部を形成し、その第2歯部を、前記第1歯部に対して噛み合う方向に噛合用引張スプリングにて押圧する、或いは第1歯部に対して離脱する、先端側にピンを有する操作レバーをロアーフィニット固定ブラケットに回動可能に設け、そのピンを前記カム部に挿入保持したことを特徴とした車両用チルトハンドル装置。

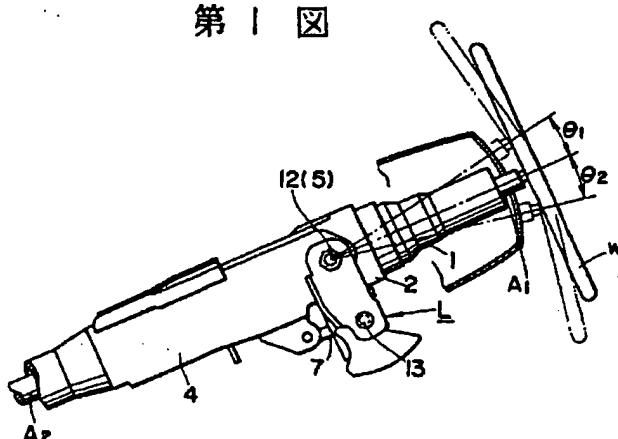
㉒ 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すものであつて、そ

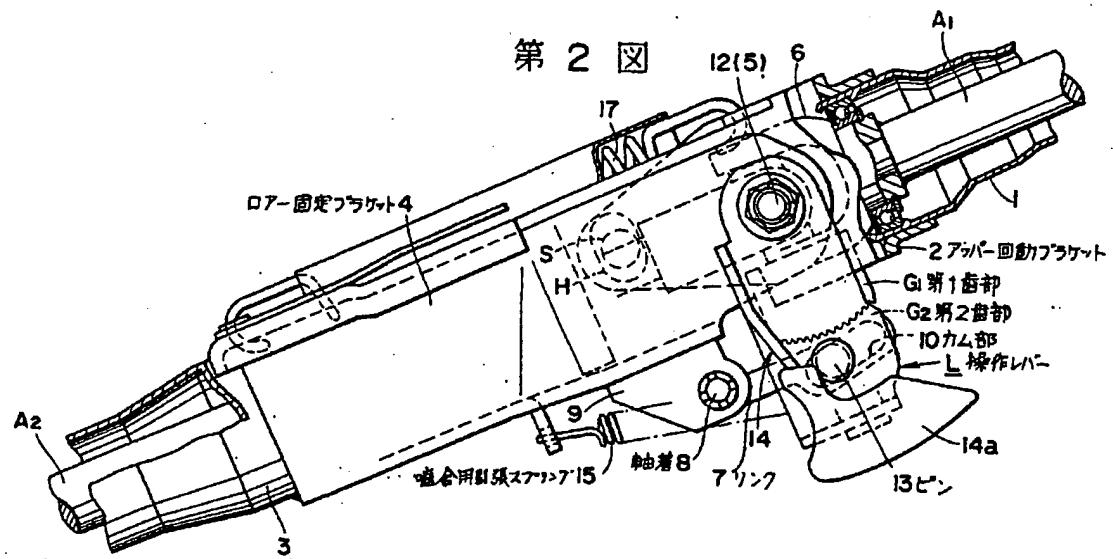
の第1図は本考案を組み込んだハンドル装置の略示側面図、第2図は第1図の要部拡大側面図、第3図は本考案の要部斜視図、第4図は第3図の要部断面図、第5図は適宜の角度にした状態の本考案の一部断面とした要部拡大側面図、第6図は第5図において第2歯部を離脱した状態の一部断面とした要部拡大側面図、第7図は本考案の別の実施例の一部断面とした要部拡大側面図、第8図は第7図の要部断面図、第9図乃至第11図は第1歯部とリンクの第2歯部との噛合状態の略示側面図、第12図は従来公知の第1歯部とリンクの第2歯部との噛合状態の略示側面図である。

2……アッパー回動ブラケット、4……ロアーフィニット固定ブラケット、5……支点軸、7……リンク、8……軸着、G₁……第1歯部、G₂……第2歯部、10……カム部、L……操作レバー、11a……U字状部、13……ピン、15……噛合用引張スプリング。

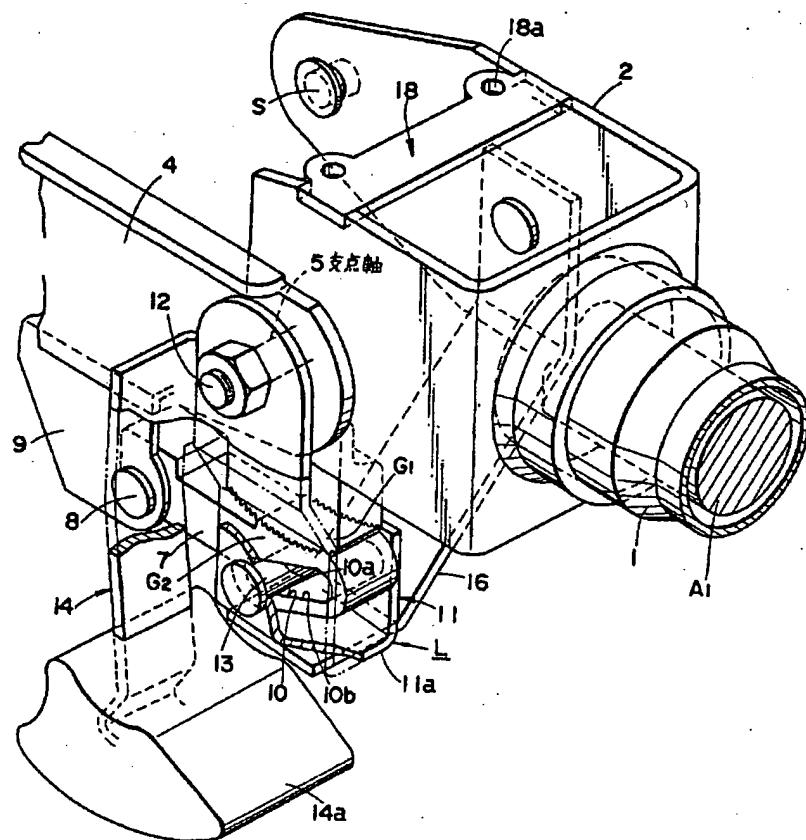
㉓ 第1図



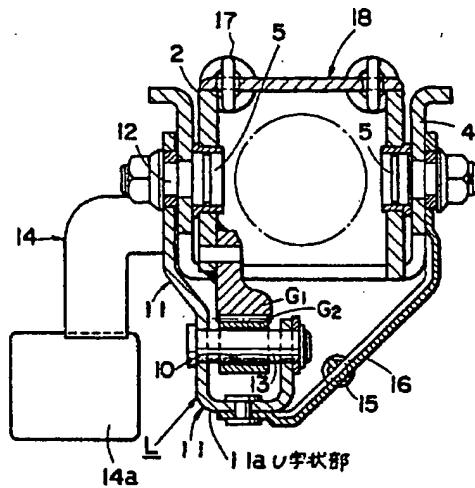
第2回



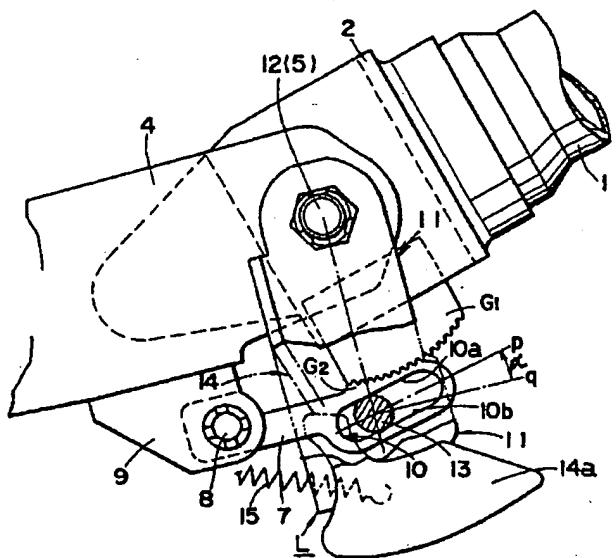
第3図



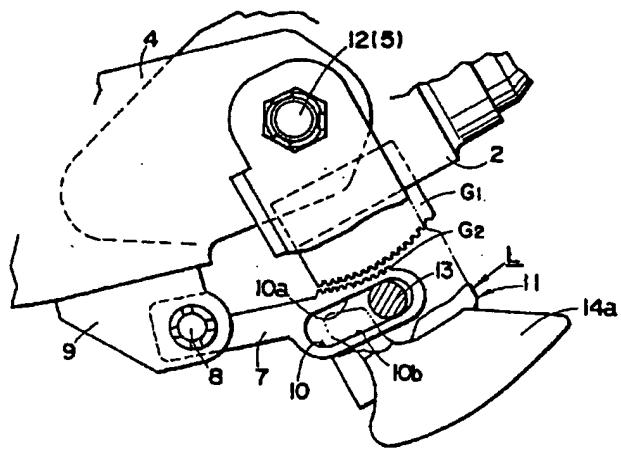
第4図



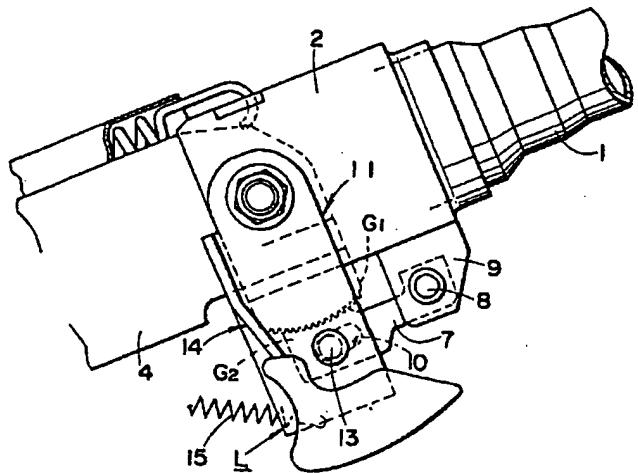
第5図



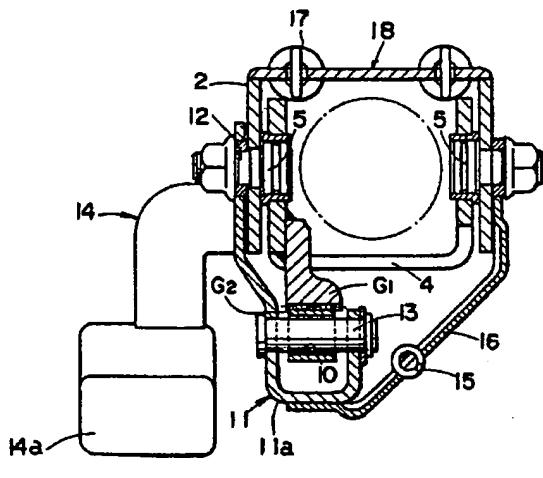
第6図



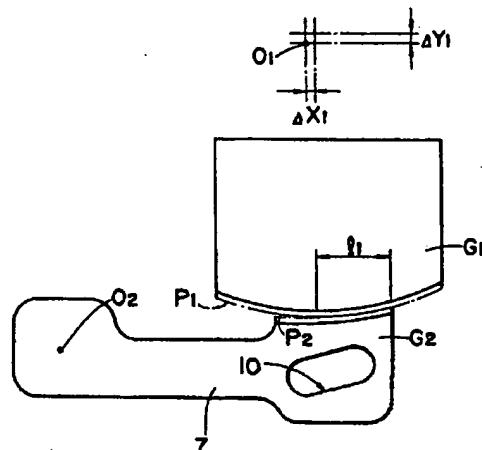
第7図



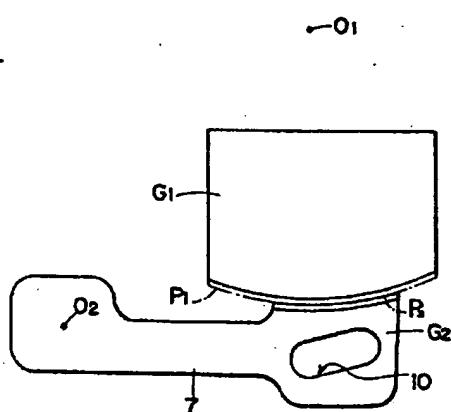
第 8 図



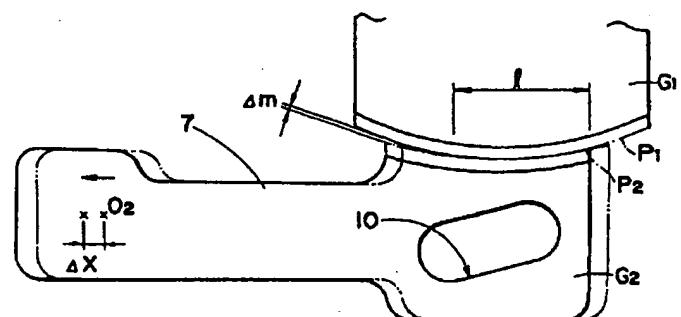
第 10 図



第 9 図



第 11 図



第 12 図

